

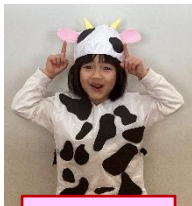
はやま認定こども園 ハッピーステージ

令和6年12月14日(土)

ぶどう組 劇 「十二支のはじまり」



ねずみ あおやぎりょう



うし おくのまな



とら ほそやおうが



うさぎ すずきみれあ おくやまあみ
ぬのみやかいり



ナレーター ゆうきりお よしはらかすみ
たかはしれお



たつ ぬのみやじょうじ かねこゆきの



へび まつだことな



うま そりまちかい ささはらりと



ひつじ いとうまひな ささはらゆあ



神様 ながいなつま しばたらんたろう
まつだあやめ



さる かどわきとあ



とり ほしなもな たなかきえ



いぬ こばやしそうすけ



いのしし かるべかいり



ねこ あらきりこ
どかいこうだい



ハッピーステージに向けての話し合いの中で、「劇をやりたい!」「みんなが知っている話にしよう!」などの案が出されました。こども会議での話し合いの結果、ぶどう組さんが選んだお話は、『十二支のはじまり』です。

皆さんが良くご存じの中国のお話ですね。子ども達は、登場するキャラクターの性格や表現したい動きと自分を照らし合わせ、配役を決めました。

賢くたましながら一等を勝ち取るねずみ、自分の力をよく理解して着実に歩むうし、威張っているけれど、本当は優しいとら、かわいらしさでピンチを乗り切るうさぎ、雄大に空を泳ぐたつ、地道に歩みを進めるへび、楽し気に駆け回るうま、のんびりとマイペースなひつじ、いたずらをしてけんかになり、犬猿の仲の由来にもなったいぬとさる、その二匹の間を“取り持つ”とり、後先考えず突き進むいのしし。そして、ねこがねずみを追い掛け回すようになった理由は? お話を進めてくれるナレーターの役割や軽快なドラムロールをして盛り上げてくれる神様など、それぞれのキャラクターをイメージしながら、ご覧ください。

さらに劇中には、神様のもとに集う動物たちの様子があり、ぶどう組が行ってきた『こども会議』の姿と重なりとても素敵な場面もあります。楽しく劇を進める子どもたちの姿にご注目ください。



ぶどう組こども会議



みんなで衣装や小道具、背景を作ったよ!

早口で言えるよ!

ね、うし、とら、う-
たつ、み、うま、ひつじ
さる、とり、いぬ、い



神様の神殿づくり
「カッコよく
できた〜」